

到達点まで一直線に向かう矢印(→) 立体的な物に入っているような感じ
 I am happy **to** join **with** you today **in** what
空間共有・双方向性
 下のほうへ 2つのものを天秤にかけるイメージ
 will go **down in** history **as** the greatest
立体的な物に入っているような感じ
立体的な物に入っているような感じ
 demonstration **for** freedom **in** the history **of** our nation.
意識の向いている方向や指さし方向 分離、帰属

では、それぞれのイメージを大事にしながら、英文を読んでいきましょう。


I am happy to join with you today の箇所

to は「到達点まで一直線に向かう矢印 (→)」のイメージ。I am happy という気持ちが向かっているのは、join with you today ということです。



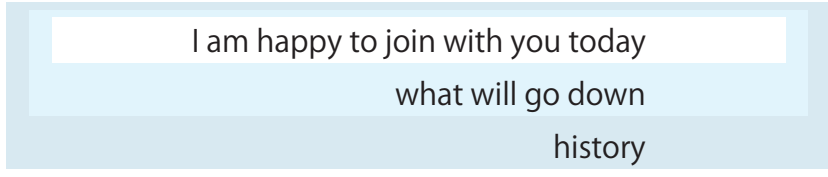
join with you today の箇所

join you today でも文法的に OK なのに、なぜ前置詞 with が使われているのでしょうか？ これは with のイメージ「空間共有・双方向性」を上手に活用しているのです。単に「あなたたちに join する」というニュアンスになる join you ではなく、join with you とすることで「あなたたちと一緒に手を取り合う」「志を分かち合う」というニュアンスが出ています。前置詞 with から、キング牧師の、この集会への意気込みがうかがえますね。




I am happy to join with you today in what will go down in history の箇所

2 回使われている in をみましょう。in は「立体的な物に入っているような感じ」というイメージなので、つまりこの「I am happy」という気持ちは、what will go down in history に入り込んでいる感じがするのです。そして、what will go down というのも history に入り込んでいるわけですね。



I am happy to join with you today in what will go down in history の箇所

down は「下のほうへ」というイメージ。歴史という流れを下降していくかのように、後世へと語り継がれるだろう、というニュアンスを表すことができます。



through トンネルのような空間を通り抜けるイメージ

*特定の期間中ずっと、そしてその後も

例：He slept **through** the morning.

彼は朝ずっと寝た。

※朝ずっと。例えば午前8時～12時。



throughout 空間を通過し終えるイメージ

*特定の期間中ずっと、そしてその後も

※ through よりも「期間中ずっと感」が強い

例：He slept **throughout** the morning.

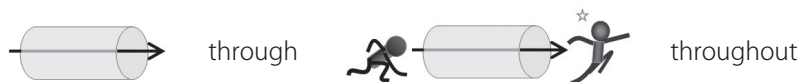
彼は朝ずっと寝た。

※朝ずううううううと。例えば午前8時～12時。



through と throughout の違い

through は時間の経過（図の矢印の部分）にフォーカスが向いていて、throughout は「通過し終えた」という終わりの部分にフォーカスが向いています。



by ちょっとした隔たりのある「そば」

*特定の時間までに

例：They have to get here **by** seven-thirty.

彼らはここに7時半までに到着しないとイケない。



*熟語的に「時間」を表す使い方の例

by the time : その時までには

例：**By** the time they get here, we will have finished our dinner.

彼らがここに到着するまでには、私たちは夕飯を食べ終えているだろう。

to 到達点まで一直線に向かう矢印 (→)

*×時○分前

例：It's a quarter **to** four.

今は、4時（になる）15分前。

※ a quarter は4分の1という意味。時間を表す表現として使われる場合、60分（1時間）の4分の1ということで「15分」を意味します。



of 分離、帰属

*×時○分前

例：It's ten **of** four.

今は、4時（になる）10分前。

※ ten of four の ten は「10分」のことです。同じように「4時（になる）5分前」のことを言いたければ It's five of four. と言うこともできます。

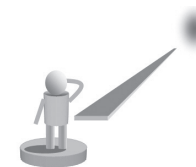


toward 到達点に向かって感じる感じ


*（特定の時間）に向かう頃

例：It was **toward** the end of September when she moved to NY.

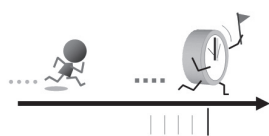
彼女がニューヨークに引っ越したのは9月が終わる頃だった。



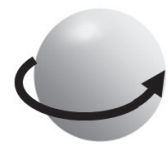
1. about

<p>about 周辺</p> 	<p>thereabout そのあたり</p> <p>例) あそこ (there) の周辺 (about)</p>	<p>whereabouts 行方、位置</p> <p>例) どこ (where) の周辺 (about)</p>
--	---	---


2. after

<p>after 何かの後ろ</p> 	<p>afterglow 余韻、残光</p> <p>例) glow (光) した後 (after) の→余韻、残光</p>	<p>afterimage 残像</p>
<p>afterlife 来世、余生</p>	<p>afternoon 午後</p>	<p>aftershock 余震</p>


3. around

<p>around ぐるりと一周する動き</p> 	<p>turnaround ユーターン、方向転換、(思想や政策などの) 転向</p>	<p>wraparound 包み込む</p>
---	--	----------------------------

4. by

<p>by ちょっとした隔たりのある「そば」</p> 	<p>bygone 過去の、過ぎ去った</p>	<p>byline 筆者名を記す行</p>
<p>bypass 迂回道路</p>	<p>passerby 通行人</p>	<p>standby 待機する</p>

5. down

<p>down 下のほうへ</p> 	<p>downbeat 下拍、指揮棒の振り下ろし</p>	<p>downcast うつむいた、意気消沈した</p>
<p>downcourt (バスケットボール等の) 反対側のコート</p>	<p>downgrade 格下げ、下り坂の</p>	<p>download ダウンロードする</p>